

リース方式による担い手の育成

事業名：経営構造対策事業（平成 13 年度認定）
 地区名：岐阜県美濃加茂市加茂野地区
 事業主体：めぐみの農業協同組合（旧美濃加茂農業協同組合）
 施設名：高生産性農業用機械施設 普通型コンバイン 1 台（H 13）
 事業費：21,000 千円（国費：10,000 千円）

1. 組織の概要

- (1) 組織名：稲辺転作受託組合
 (2) 構成員：133 人
 (3) 設立年月日：平成 6 年 4 月 1 日
 (4) 業務内容等：米・麦・大豆の作付け
 水田管理
 米・麦・大豆の収穫、出荷
 (5) 連絡先：稲辺転作受託組合
 岐阜県美濃加茂市加茂野町稲辺 492

2. 取組み概要

- (1) 施設導入経緯
 美濃加茂地域（加茂野地区）の農業は、経済の高度成長に伴う都市化発展のなかで住宅及び工場用地化が増加し、農地のスプロール化と農業者の減少、高齢化が進んでいる。また、耕作規模が少ない事と、交通の便も良いことから自己完結型の小規模兼業農家が増加しており地域農業の担い手が懸念されている。こうした中、集落営農機構を生かした、集落を単位とした営農を展開し、地域のオペレーターグループに農地を集積し、麦・大豆・水稻を中心とした営農活動を確立する。

(2) 取組概要

加茂野地区の農家数は、272 戸で、そのうち専業農家 13 戸、第一種兼業農家 19 戸で、多数が第二種兼業農家である。また 1 戸当

りの平均経営面積は、約 1.0ha 認定農家は、13 戸。今後増加できるように行政と一体になって推進している。

当地区の農家意向調査によると後継者のいない農家が 43.3 % に達し 10 年後には 34.9 % の農家が農地管理を家族以外の人に任せる予想をしている。

平成 13 年度より経営構造対策事業により導入した高生産性農業用機械施設（普通型コンバイン）を受託組織（稲辺転作受託組合）と利用契約を結んで貸し付けを行い効率的な土地利用の確立と転作作物（麦・大豆）の振興を図っている。

農地保有合理化事業にも取り組み農地の集積を行いながら地域の担い手へ農地を集積し、麦・大豆栽培の栽培面積の拡大と安心・安全な農作物の供給と地域農業の振興を目指している。

整備施設
普通型コンバイン



3. 目標設定

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率（%）、下段：面積（ha）			遊休農地の 解消	
計画時 （人）	目標 （人）	増加率 （%）	市町村目標割 合（%）	地区目標割合 （%）	計画時	目標	増加率 （%）	計画時 （ha）	目標 （ha）
13	14	107.7	3.7	5.3	(10.8%)	(39.1%)	28.3	0.0	0.0
					13.4	48.5			

(2) 地区選択目標

集落営農による活動の促進		水田農業構造改革目標	
計画時（組織）	目標（組織）	計画時	目標
0	1	-	-